



中 | 英語 |

はじめに

～英語と日本語の文のつくりのちがいを確認しよう!～

日本語・・・ 私は 英語を 勉強する。

<主語>

<動詞>

英語 ... I study English.

<主語>

<動詞>

～参考～

*<主語>とは
文の中で「誰が」「何が」
にあたる部分。

*<動詞>とは
動作を表す単語のこと。
日本語では述語といいます。

この2つの文を見比べてみてください。

日本語と英語の大きな違いは何だと思いますか？

はじめに

～英語と日本語の文のつくりのちがいを確認しよう!～

語順が違う

日本語・・・ 私は 英語を 勉強する。

<主語>

<動詞>

英語 ... I study English.

<主語>

<動詞>

私は

勉強する

英語を

日本語は
<動詞>が文の最後

英語は
<主語>の次に<動詞>

主語を訳したら、あとは後ろから訳すようにしましょう。

はじめに

～英語と日本語の文のつくりのちがいを確認しよう!～

英語と日本語では、語順が違う!
そのため、
英文を訳すとき、
英文をつくる時には注意が必要です。

それでは、さっそくbe動詞からおさらいしていきましょう!!





Lesson 1

be動詞・This is～. の文
That is～.

be動詞とは？

am, are, isをbe動詞といいます。

日本語にすると

「～です」「～いる(ある)」の2つの意味があります。

[例文]

I **am** a new student. (私は新しい生徒です。)

You **are** my friend. (あなたは私の友達です。)

Tom **is** in Tokyo now. (トムは今東京にいます。)

My pencil **is** on the desk. (私のえん筆は机の上にあります。)

be動詞の使い分け am, are, isの使い方

主語によって、am, are, isを使いわける必要があります。

[例文]

① I **am** from Miyazaki.
(私は宮崎出身です。)

amを使うのは
主語が **I** のときだけ

② We **are** from Miyazaki.
(私たちは宮崎出身です。)

areを使うのは
主語が **You** のとき
複数(2人以上) のとき

③ Akira **is** from Miyazaki.
(アキラは宮崎出身です。)

isを使うのは
主語が **I, You以外の単数** のとき

be動詞の使い分け am, are, isの使い方

主語とbe動詞の組み合わせ例

主語	be動詞
I	am
you, we, they the students, the boys my friends Ken and Emi	are 複数の時
he, she the student, the boy my mother Ken, Emi	is 単数の時

be動詞の使い分けまで
おさらいしたところで、
確認問題いってみよう!!



問題1 ()内から適切なbe動詞を選びなさい。

(1) My bike (is , am , are) very old.

(2) You (is , am , are) a good baseball player.

(3) Your brother (is , am , are) very kind.

(4) I (is , am , are) a new student.

(5) Hiroko (is , am , are) good at tennis.

(6) My sister (is , am , are) ten years old.

(7) Tom and Ken (is , am , are) good students.

(8) You (is , am , are) my friend.

be動詞の意味

be動詞には ①「～です」
②「～いる」「～ある」という2つの意味がある。

①「～です」

主語が何であるか(誰であるか)、どんな状態かをあらわす。

②「～いる。」「～ある。」

存在をあらわす用法。

～(主語)が・・・(場所)にいる。～(主語)が・・・(場所)にある。

be動詞の意味

①「～です」

主語が何であるか（誰であるか）、どんな状態かをあらわす。

主語が何で（誰で）あるか
<主語＋be動詞＋名詞>

[例文]

I **am** Takeshi Yamamoto.
(私は山本タケシです。)

You **are** our teacher.
(あなたは私たちの先生です。)

This **is** my bag.
(これは私のかばんです。)

主語がどんな状態か
<主語＋be動詞＋形容詞>

[例文]

I **am** happy.
(私は幸せです。)

You **are** kind.
(あなたは親切です。)

Your bike **is** nice.
(あなたの自転車は素敵です。)

形容詞・・・
名詞の状態や性質
を説明する語句

be動詞の意味

②「～いる。」「～ある。」

存在をあらわす用法。

(主語)が…(場所)にいる。～(主語)が…(場所)にある。

<主語+be動詞+場所をあらわす言葉>

[例文]

I **am** in Tokyo.

(私は東京にいます。)

They **are** near the station.

(彼らは駅の近くにいます。)

Her book **is** on the desk.

(彼女の本は机の上にあります。)

場所をあらわす言葉の前には
前置詞がつきます。意味を覚えよう。

in～ ～に、～のなかに

under～ ～の下に

on～ ～の上に

by～ ～のそばに

near～ ～の近くに

問題2 次の日本文に合うよう語句を並べ替えなさい。

(1) 私は日本出身です。

[Japan / from / I / am] ()

(2) これは私のペンです。

[my / pen / is / this] ()

(3) 彼は新しい先生です。

[new / is / he / a / teacher] ()

(4) 私の姉はとても忙しいです。

[busy / sister / is / very / my] ()

(5) 私たちの先生はとても親切です。

[is / kind / our / very / teacher] ()

be動詞の否定文

be動詞の文を否定文にするには、
be動詞のすぐ後ろにnotをいれます。

肯定文

We **are** students.
(私は学生です。)

否定文

We **are not** students.
(私は学生ではありません。)

be動詞の短縮表現

主語+be動詞の短縮

I am ⇒ I'm

you are ⇒ you're

he is ⇒ he's

she is ⇒ she's

it is ⇒ it's

we are ⇒ we're

they are ⇒ they're

that is ⇒ that's

be動詞+notの短縮

is not ⇒ isn't

are not ⇒ aren't

be動詞の否定文

be動詞の文を否定文にするには、
be動詞のすぐ後ろにnotをいれます。

[例文]

Ms.Green **is not** our teacher.

(グリーンさんは私たちの先生ではありません。)

Takeshi **isn't** in Oita. (タケシは大分にいません。)

I'**m not** from Chiba. (私は千葉出身ではありません。)

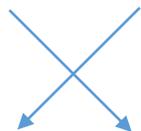
They'**re** my friend. (彼らは私の友達です。)

be動詞の疑問文

be動詞の文を疑問文にするには、
be動詞を主語の前におきます。

be動詞 + 主語 + ……?

肯定文 He **is** a teacher. (彼は先生です。)



疑問文 **Is** he a teacher? (彼は先生ですか。)

疑問文の答え方

肯定 Yes, He is.
(はい、そうです。)

否定 No, he is not.
(いいえ、ちがいます。)

Yes, + 主語の代名詞 + be動詞 .
No, + 主語の代名詞 + be動詞 + not .

be動詞の疑問文

be動詞の文を疑問文にするには、
be動詞を主語の前におきます。

be動詞 + 主語 + ……?

[例文]

Is this your book?(これはあなたの本ですか。)

— Yes, it is. / No, it's not.

(はい、そうです。 / いいえ、ちがいます。)

Are you Ken?(あなたはケンですか。)

— Yes, I am. / No, I'm not.

(はい、そうです。 / いいえ、ちがいます。)

Is Ken from Tokyo?(ケンは東京出身ですか。)

— Yes, he is. / No, he's not.

(はい、そうです。 / いいえ、ちがいます。)

ポイント

物が主語のときは
itを使う

Youで聞かれたら
Iで答える

男の人が主語なので
heを使う

This is ~. That is ~.の文

「これは～です。」「あれは～です。」というときは、
This is～. That is～.を使います。

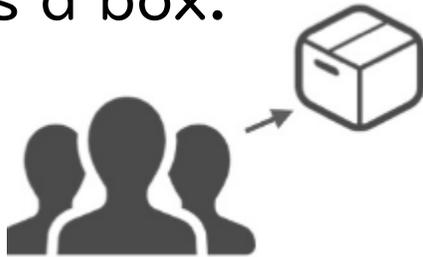
[例文]

This is a camera. (これはカメラです。)

This is Mr. Green. (こちらはグリーン先生です。)

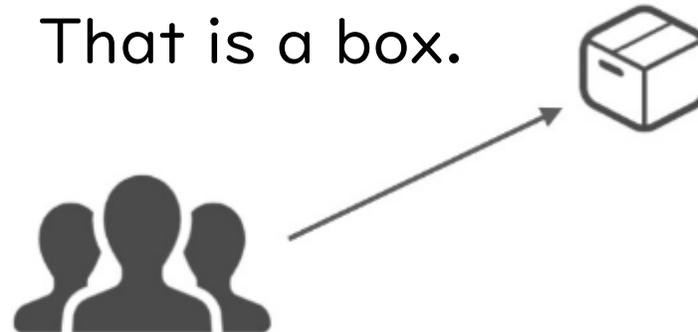
That is a bus. (あれはバスです。)

This is a box.



近くにあるものやいる人

That is a box.



はなれているものや人

問題3

日本文に合うように[]内の語を並べ替えなさい。

(1) こちらはあなたのお父さんですか。
[this / your / is / father]?

(2) これはトムのギターではありません。
[Tom's / is / guitar / not / this].

(3) あれはコンピューターではありません。
[computer / not / that's / a].



Lesson2

一般動詞の文

一般動詞とは？

be動詞以外の動詞を一般動詞といいます。
一般動詞は文の中で述語になり、
主語の行う動作や、主語の状態をあらわします。

動作をあらわすもの

study (勉強する) use (使う) have (持っている、食べる)
go (行く) speak (話す) run (走る) swim (泳ぐ) watch
(見る) read (読む) write (書く) など

状態をあらわすもの

know (知っている) like (好き) など

be動詞は「is, am, are」だけだったけど、一般動詞は無数にあるので
たくさん覚えよう。動作をあらわすものが多いよ。



一般動詞とは？

be動詞以外の動詞を一般動詞といいます。
一般動詞は文の中で述語になり、
主語の行う動作や、主語の状態をあらわします。

[例文]

I **play** soccer after school. (私は放課後サッカーをします。)

We **study** English every day. (私たちは毎日英語を勉強します。)

You **like** music. (あなたは音楽が好きです。)

一般動詞の肯定文

[例文]

You know Tom.

<主語> + <一般動詞> + ~.

あなたはトムを知っています。

否定文・疑問文に
書き換える方法も
おさらいしていきましょう!

注意!!!

be動詞と一般動詞は一緒には使えません!!

(○) I like English.

(×) I am like English.



一般動詞の否定文

一般動詞の文を否定文にするには
主語と動詞の間にdon't をいれます。

[例文]

You don't know Tom.

<主語> + don't + <一般動詞> + ~ .

あなたはトムを 知りません。

*do not = don't

一般動詞の疑問文・答え方

一般動詞の文を疑問文にするには
主語の前に**Do**をおきます。

[例文]

Do you **know** Tom?

あなたはトムを
知っていますか。

Do + <主語> + <一般動詞> + ~ ?

はい、知っています。/
いいえ、知りません。

— Yes, I **do**. / No, I **don't**.

注意!!!

*Yesのときはdo、Noのときはdo not(don't)で答えます。

- ・Do you~?に答えるときは、主語にIを使う。
- ・一般動詞の疑問文をAre you~?としない。

(×) Are you play tennis?

(○) Do you play tennis?

よく使われる一般動詞の文

*I like~.の文

I **like** music.

(私は音楽が**好きです**。)

You **like** baseball.

(あなたは野球が**好きです**。)

「~がとても好きだ」は like~very much.

例 I **like** music **very much**. (私は音楽がとても好きです。)

*I have~.の文

I **have** a bike.

(私は自転車を**持っています**。)

「~を持っている。」は haveを使ってあらわします。

よく使われる一般動詞の文

*I play~.の文

I often **play** soccer in the park.

(私はよく公園でサッカーを**します**。)

You **play** the piano well.

(あなたは上手にピアノを**弾きます**。)

play + スポーツ名

play the + 楽器名

一般動詞の文でよく使われる副詞(句)

well(上手に), often(しばしば),
hard(熱心に), every day(毎日),
by bus(バスで), on Sunday(日曜日に),
in the park(公園で) など

副詞とは、動詞を詳しく
説明する言葉だよ。



問題Ⅰ カッコ内から適切な単語を選んでください。
(文章は日本語に訳しましょう)

(1) I (am , play , have) soccer on Friday.

(2) You (are , have , speak) English at home.

(3) I (am , like , read) a book every day.

(4) You (are , walk , play) a football player.

(5) I (am , speak , like) Japanese food.

(6) You play (piano , a piano , the piano) .

問題3 カッコ内の指示に従って問題を解いてください。
(回答は日本語に訳しましょう)

(1) You like English. (疑問文に)

(2) You walk to school. (疑問文に)

(3) I know Mr.Yamada. (否定文に)

(4) I speak English at home. (否定文に)

問題4 次の日本文を英文に直してください。

(1) 私はテニスと野球をします。

(2) 私は英語と日本語を話します。

(3) 私はアニメファンではありません。

(4) 私はマンガを読みません。

(5) あなたはお寿司が好きですか。— はい、好きです。

(6) あなたはボブを知っていますか。いいえ、知りません。

一般動詞の文 まとめ

肯定文

You know Tom.

<主語> + <一般動詞> + ~

(あなたはトムを知っています。)

否定文

You don't know Tom.

<主語> + don't + <一般動詞> + ~

(あなたはトムを知りません。)

疑問文

Do you know Tom?

Do + <主語> + <一般動詞> + ~ ?

— Yes, I do. / No, I don't.

(あなたはトムを知っていますか。)

(はい、知っています。/
いいえ、知りません。)



「生きる」を創造する 
学生家庭教師会